

2024年9月20日

各位

会社名 株式会社西武ホールディングス  
代表者 代表取締役社長兼COO 西山 隆一郎  
(コード番号：9024 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員広報部長 多々良 嘉浩  
(TEL. 03-6709-3112)

## 西武グループ サステナビリティアクション

### TNFD 開示提言に賛同し「TNFD Adopter」へ私鉄事業者として初めて登録 ～TNFD フォーラムにも併せて参画し、ネイチャーポジティブな社会の実現を目指します～

株式会社西武ホールディングス（本社：東京都豊島区、代表取締役社長兼COO：西山 隆一郎）は、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD<sup>\*1</sup>：Taskforce on Nature-related Financial Disclosures）が2023年9月に公表した開示提言（TNFD 提言）に賛同を表明し、提言を採用する「TNFD Adopter<sup>\*2</sup>」へ2024年9月に私鉄事業者として初めて登録したことをお知らせします。さらに、TNFD の活動を支援するTNFD フォーラム<sup>\*3</sup>にも併せて参画します。今後、TNFD の提言に基づいた自然関連の情報開示の充実、自然関連リスク・機会の把握により一層努めてまいります。

当社グループでは、2024年5月に公表した「西武グループ長期戦略 2035」において、長期目線での経済性・成長性と社会性の両立を目指すため、社会課題や当社の事業環境を踏まえた特に取り組みべき6つのマテリアリティ（重要テーマ）を新たに設定し、各種取り組みを推進しております。

生物多様性の保全や自然資本<sup>\*4</sup>の維持に関しては、マテリアリティの一つである「脱炭素・資源有効活用」を中心に各種取り組みを進めております。これまでには、昆明・モンリオール生物多様性枠組の2050年ビジョン「自然と共生する世界」の達成に向けた「西武グループ ネイチャーポジティブ宣言」の策定や、「生物多様性のための30by30 アライアンス」への参画を行いました。具体的な取り組みとしては、社有林・里山の保全、傷ついた野生生物の救護、不動産施設周辺の自然環境整備などを進めております。

また、当社グループの取り組みは外部からも高く評価されております。一例として、生物多様性の保全が図られている区域として「飯能・西武の森」や「東京ガーデンテラス紀尾井町 光の森」が環境省「自然共生サイト<sup>\*5</sup>」に認定されております。さらに、地域の生物多様性に貢献する重要な緑地として、「軽井沢72ゴルフ」が「ABINC 認証<sup>\*6</sup> ゴルフ場版」の認定評価を初めて獲得しました。

当社グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として積極的に推進するとともに、TNFD 提言に基づいた更なる情報開示の充実に努めることで、ネイチャーポジティブな社会の実現を目指してまいります。

- \*1 TNFD 自然関連の依存度、影響、リスク、機会を評価し、情報開示を行う枠組みを提供する国際的なイニシアティブのこと。自然資本に損失を与える資金の流れを逆転させ、「ネイチャーポジティブ（自然再興）」を実現し、生物多様性を回復へと向かわせることを目的とする。
- \*2 TNFD Adopter 2024年度、または2025年度において、TNFD 提言に基づいた情報開示を行う意向を表明し、TNFD のウェブサイト上で登録した企業・組織のこと。
- \*3 TNFD フォーラム TNFD 提言へ賛同する機関により構成された、TNFD での議論をサポートする団体のこと。
- \*4 自然資本 森林、土壌、水、大気、植物、動物、鉱物など、自然によって形成される資本。
- \*5 自然共生サイト 「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定した区域のこと。
- \*6 ABINC 認証 いきもの共生事業所<sup>®</sup>推進ガイドラインの考え方に沿って計画・管理され、かつ土地利用通信簿<sup>®</sup>で基準点以上を満たし、当審査過程において認証された事業所のこと。

## 「西武グループサステナビリティアクション」

西武グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。

社会課題や当社の事業環境を踏まえて、特に取り組むべき6つのマテリアリティ（重要テーマ）を設定し、各種取り組みを進めています。

詳細ページ：<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>

成長	 <b>脱炭素・資源有効活用</b> 常に自然環境、地球環境へ配慮し、脱炭素社会や資源循環型社会の実現に貢献します。	基盤強化	 <b>安全・安心なサービス提供</b> 常に安全を基本にすべての事業・サービスを推進し、すべての人に安心な日常を提供します。
	 <b>住みたいまち・訪れたいまちづくり</b> 様々な暮らしの1シーンを彩り、住みたくなるまちづくりを行います。多様な人々を惹きつける、訪れたいまちづくりを推進します。		 <b>多様な人財の育成・活躍</b> 個人がスキルを高め、働きがいのある組織づくりにより、はたらく人のほほえみを創出します。はたらく人の専門性を高め、プロフェッショナルな人財を育成します。
	 <b>五感を揺さぶる体験創造</b> 楽しみ、感動、興奮、生きがいを提供し、人々がほほえむ特別な時を創造します。		 <b>コンプライアンスと協働</b> コンプライアンスを徹底し、経営の健全性・透明性を確保します。ステークホルダーとの対話を重視し、適切な協働に努めます。

以上